

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	公益財団法人 秋田県国際交流協会
実習期間	平成 30年 2月 15日 ～ 平成 30年 2月 21日
学生氏名	高山華穂
実習プログラム	多文化共生に関する事務
学び・気づき (300字程度)	今回のインターンシップでは、社会人として働くとはどういうことなのか学びました。業務体験では、毎回アバウトな指示を受け取り、具体的にどう動くべきなのか私が尋ねる場面が多くありました。そのため自分で考えて動くことと、上司にアドバイスを求めながら動くことに難しさを感じ、また、これがどれだけでいいのか試されているようにも感じました。アンケート集計の業務では、私が担当者となら具体的な作業の進め方について確認しなかったために、時間内に予定の作業を終わらせることができませんでした。報告・連絡・相談（ホウレンソウ）」を徹底し、仕事を始める前の段階から上司とよく相談し、どのように進めていくべきか確認すれば失敗を防げると身をもって学びました。(312文字)
今後に向けた 抱負 (200字程度)	インターンシップを終えて、地域レベルでの異文化理解が進んでいることを学びました。地元のスーパーでは外国人技能実習生を多く受け入れていることや、イスラム教徒でも安心して利用できる飲食店も出てきていることを知って、実習前は県レベルでの異文化理解を促進するための取り組みにしか注目していませんでしたが、今後は地域レベルでの異文化理解の進み具合についても注目していきたいと思いました。(188文字)
インターンシッ プをして気づい た、実習先の魅力 (300字)	秋田県国際交流協会では、県民の異文化に対する関心を高めてもらうため、教会の入り口に外国の紹介コーナーを設けています。毎週一か国をピックアップし、その国の国旗や民族衣装、そして伝統工芸品や玩具などを飾っています。小物はAIA コミュニティサポーターの方達などが、お土産として自国で買って持ってきてくれたものがほとんどだそうで、教会に置いてある物はAIA とAIA コミュニティサポーター達の信頼の証なのだと思います。国旗だけでなく様々な国の民族衣装も置いてあるのが驚きで、過去には世界の民族衣装を着て踊るというイベントも開催されたそうです。国旗や衣装は誰でもレンタルできるので、協会が開催するイベント以外でも使用することができます。(307文字)
写真 (1～3点)	

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	公益財団法人 秋田県国際交流協会
実習期間	平成 29年 2月 21日 ～ 平成 29年 2月 27日
学生氏名	後藤 南
実習プログラム	<p>2月21日(火)1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流協会の事業説明 ・国旗リストの更新と整理 ・韓国伝統衣装チマチョゴリの着付け <p>2月22日(水)2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアの文化紹介とインタビュー(古関テウイさん) ・文化紹介のまとめ→facebook 記事の作成 ・国際交流事業のまとめパネルの作成 <p>2月23日(木)3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流事業のまとめパネルの作成 ・国際交流と異文化理解について市川さんのお話 <p>2月24日(金)4日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チマチョゴリの着方パンフレット作成 ・やさしい日本語についての説明(パワーポイント作成) <p>2月27日(月)5日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア語を使った仕事についてのインタビュー(秋田県庁国際課伊藤専門委員) ・ロシア企画展示の作成 ・やさしい日本語についての説明(ワード作成)
学び・気づき (300字程度)	<p>私は5日間実習させてもらってやはり国際交流協会はひとつのサービス業であるため、ひとりひとりのお客様とのつながりを大切にしていくことの重要性に改めて気づかされました。例えば、秋田県在住の外国人が協会に来た際は、積極的に声をかけて生活していくうえでの相談を親身に聞いていました。反対に、外国人の方は自分の国の習慣や考えなどをお話してお互いに学び合っていました。常に新しいことを吸収するということが大切に行っていると感じました。わたしも人とのコネクションを積極的に持ちたいです。また、国際交流というとなんとなくみなさんが語学堪能で何度も海外に行っている人がいるというイメージを持っていましたが実はそうではなく公務員や広告デザイン専門など、様々な人がいてそれぞれの役割を果たしているということを意外に感じました。それと同時にどのような職種でも世界とつながる時代になったということを感じました。</p>

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>私は今回の実習で国際社会に対する偏見をなくすことを一つのテーマとして設定していました。国際交流のイベントを企画するうえでいちばん大切なのは英語を話せる人話せない人、どこの国の人、子供、高齢者など誰でも簡単に楽しめるものであるということが分かりました。難しいものだと結局自信がなくなり子供や高齢者の参加はなくなります。誰でも参加できるものの企画は簡単にできそうで実はとても難しいことがわかりました。ひとつひとつの仕事には多くの人の思いや責任があります。私もこれからは自分の仕事に対して責任感を持つことを大切にします。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>秋田県国際交流協会は秋田県在住の外国人だけではなく外国人を受け入れてくれる県民の方々や企業、県の学校、市役所、県庁の人など多くの人とのつながりがあります。そのため外国の事だけでなく様々なジャンルを日々吸収できる環境にあることが魅力のひとつです。また6人というとても少ない人数で運営していますがひとりひとりがそれぞれ専門的な役割があつて、それを日々生かしていることがすてきだと感じました。社会人になっても毎日学び、新しいことに挑戦できるということが国際交流協会のよいところであると思います。普段は電話対応の仕事が多いですが、誰かが訪問するとみなさんが楽しくお話しているのを見て、なごやかで明るい雰囲気があるためもっと実習したいと思うくらいでした。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	